日本語を「つかまえる力」「伝える力」を育てよう！

国語の勉強の基本は、相手(話し手や書き手)の言いたいことを正しくつかまえること、そして相手(聞き手や読み手)に自分の言いたいことを正しく伝えること、この2つです。この「つかまえる力」と「伝える力」をつけるためには、話の順番をたどる力や、ことばの意味を知り、それを使えることが大切です。

この講習では「つかまえる力」と「伝える力」をアップするため、次のようなことに取り組みます。

- ① 漢字パズル…家で「ああでもない、こうでもない」って考えてきてください。講習期間内にゴールすることが目標です。家の方と相談したり、辞書を使ったりしてもいいですよ。授業のときに発表しあいましょう。表の問題までを目安として取り組んでください。
- ② 文章読解…本になっている教材で、授業中に勉強します。「問い」を正しく理解して「答える」には、どの文のどんなことばに注目して文章を読むことが大切なのか、みんなで考えましょう。

◆ 完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	1.物語文①	穴埋め漢字1	授業で指示
②	2.説明文①	穴埋め漢字2	授業で指示
③	4.説明文②	穴埋め漢字3	授業で指示
④	6.ずいひつ文	穴埋め漢字4	授業で指示

◆ 2学期予習講座_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	読解力養成①	穴埋め漢字5	授業で指示
②	読解力養成②	穴埋め漢字6	授業で指示

【持ち物】 ノートを1冊（おもに、2学期予習講座で使います）

楽しく考えよう。

算数は「ああでもない、こうでもない」って考えて、試してみる科目です。正解までたどりつかなくても、「考えた分だけかしこくなる」科目です。授業でも、家庭でも『楽しく考える』ことを大切にしましょう。

事前に勉強してくることは特にありません。授業の最初に、アタマをほぐすための【論理パズル】を解きます。しっかり考え、自分の答えを作ってみましょう。

授業は、1学期の復習内容中心です。分からないまま放っておいてはいけません。分からないことは先生に聞くなどして必ず解決をして帰りましょう。

「ああでもない、こうでもない」って考え、夏に大きく伸びていきましょう。

◆ 完全特訓_カリキュラム		論理思考	事後課題
①	1. 1億より大きな数	論理パズル①	p.2~p.3
②	2. 折れ線グラフ / 3. 角の大きさ	論理パズル②	p.6~7 / p.10~11
③	4. わり算の筆算	論理パズル③	p.14~p.15
④	7. 小数のしくみ	論理パズル④	p.26~p.27

保護者の皆様へ

指定した事後課題は、必ず解いていただきたい問題です。授業で行ったテーマの基本問題ですから、ご家庭で答え合わせまでしていただくようご指導をお願いします。分からないところがある場合は、そのことを担当講師に伝えていただければ幸いです。

テキスト「講座6」は2学期学習内容です。学校で学習されてからお使いください。

割り算の筆算を完璧にする

2学期予習講座のスタートは、計算の順序の学習です。

例えば、4を4つ使って答えが7になる式を作るとどんな式になる？

◆ 2学期予習講座_カリキュラム		論理思考	事後課題
①	計算の順序	論理パズル⑤	授業で指示
②	式の読み方	論理パズル⑥	授業で指示

【持ち物】算数用ノート(5ミリ方眼のノート)／完全特訓の②講座目は分度器、三角定規

4を4つ使って答えが7になる式

$$4 + 4 - 4 \div 4$$

$$44 \div 4 - 4 \quad \text{など}$$